

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第 307 号

令和 7 年 1 月 8 日
瀬戸市立幡山中学校



「飛躍の年へ

ーコミュニティ・スクールの新たな一歩」

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

2025 年が始まりました

新しい年、2025 年が明けました。今年は「乙巳(きのとみ)」の年です。学びや努力が芽吹き、一気に成長する勢いのある年とされています。また、巳年は「復活と再生の象徴」とされ、新しいことが始まる年とも言われます。

幡山中ブロックのコミュニティ・スクールも、この春で丸 2 年を迎えます。ゼロから手探りでスタートし、一歩ずつ前進してきました。昨年末には地域の回覧板で環境ボランティアを募集し、地域の皆さまのご協力のもと活動を広げています。今年はさらに飛躍の年にしたいと考えています。子どもたちがより幸せな学校生活を送れるよう、引き続き皆さまのお力添えをお願いいたします。

瀬戸市「地域とともにある学校づくり研修会」に参加して

先日、瀬戸市内の 7 中学校ブロックが集まり、「地域とともにある学校づくり研修会」が開催されました。地域コーディネーターや学校関係者、地域代表の方々が一堂に会し、情報交換や学びを深める場となりました。その中で、幡山中ブロックでは「コミュニティ・スクールが地域に浸透していない」「何をしているのか分かりにくい」との声が挙がりました。そこで今回は、研修会で愛知教育大学の中山弘之准教授が教えてくださった、コミュニティ・スクールの基礎をお届けします。

Q1. なぜコミュニティ・スクールが始まったのか？

社会全体で子どもたちを育てていく必要があるためです。子どもを取り巻く問題が複雑化・多様化しており、学校や教員だけでは対応しきれない課題が増えています。

Q2. コミュニティ・スクールの目指すものは？

一言でいうと「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。簡単に言うと、「地域とともにある学校づくり」となります。

Q3. 「社会に開かれた教育課程」とは何ですか？

学校の教育目標や内容を地域と共有し、連携しながら教育活動を進めることを指します。

Q4. それをどのように進めていくのですか？

「学校運営協議会」で課題を話し合い、「地域学校協働活動」で実践します。その後、実践で得られた課題を再び協議し、改善を進めるというサイクルが大切です。

学校と地域が「サポーター」ではなく、「パートナー」として

コミュニティ・スクールは、学校と地域が一体となって子どもたちの未来を支える仕組みです。難しく考えず、ぜひお気軽に学校にいらっやっしてください。今年も、地域と学校が手を取り合い、共に歩む一年にしていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

1組 スポーツ交流会

12月5日(木) 瀬戸市体育館

毎年恒例となっている、市内の特別支援学級合同の行事「スポーツ交流会」が行われました。開会式では、本校の3年生徒が息の合った選手宣誓を披露しました。4つのチームに分かれて他校の生徒と共に楽しく活動し、絆を深めることができました。



2年 職場体験

12月17日(火)~19日(木)

2年生は、瀬戸市近郊の各事業所に出向いて、実社会で「働く」体験活動を行いました。それぞれの希望や興味・関心に基づいて事業所を選択しており、生徒は充実した活動を行っていました。学校生活とは異なる貴重な経験を積むことができました。



3学期の主な行事予定

1月 7日(火)
17日(金)~21日(火)
17日(金)
24日(金)
28日(火)
31日(金)
2月 4日(火)
12日(水)~14日(金)
3月 4日(火)
3月 7日(金)
24日(月)

始業式
進路相談【3年生】
瀬戸つばき特別支援学校との交流【1年生】
新1年入学説明会【小6保護者】
新1年学校見学会【小6児童】
特別支援学級 卒業生を祝う会【1組】
ポッチャを楽しむ講習会【1年生・1組】
学年末テスト【1年生・2年生・1組】
卒業生を送る会
第78回 卒業証書授与式
修了式

